

WHAT IS CLAIMED IS:

【請求項1】CD38遺伝子の遺伝子変異を検出することにより、被検者における糖尿病発症危険因子を検出する、糖尿病発症危険因子の検出方法。

【請求項2】遺伝子変異が認められる部位が、CD38遺伝子によってコードされるCD38タンパク質の140番目のアルギニンをコードする部位、同264番目のセリンをコードする部位及びイントロン7の-28番目のグアニンから選ばれる1種又は2種以上である、請求項1記載の糖尿病発症危険因子の検出方法。